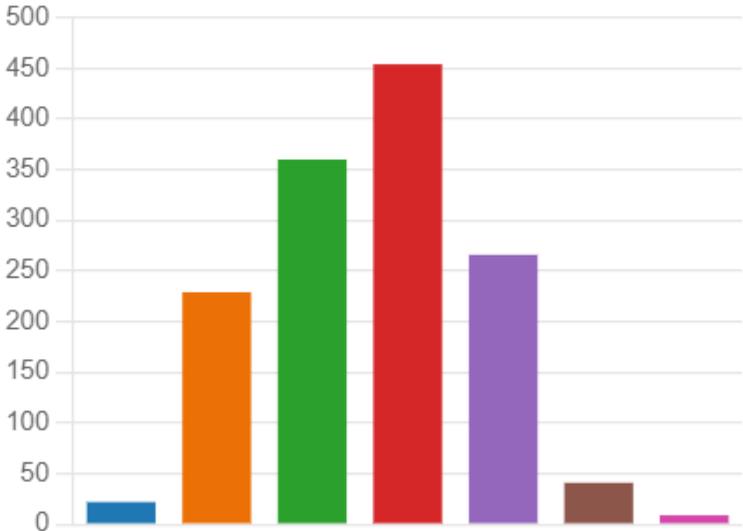


1. 回答者の年齢

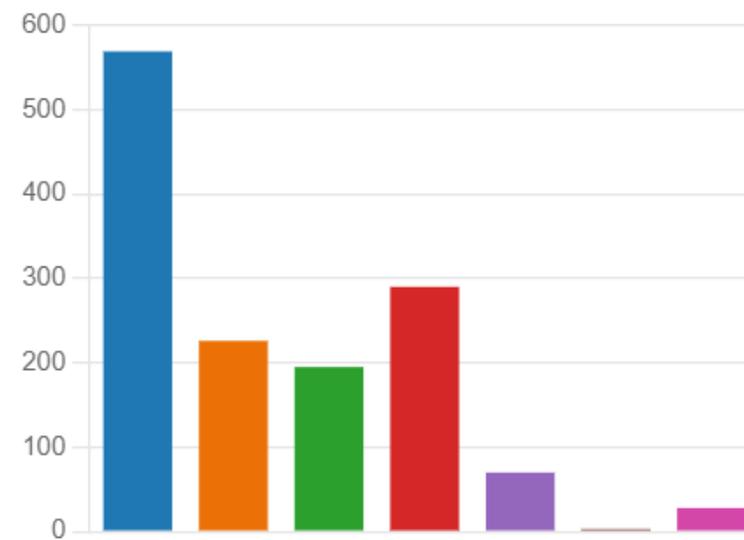
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代
- 80歳以上

22	(1.6%)
229	(16.6%)
360	(26.1%)
454	(32.9%)
266	(19.3%)
41	(3%)
9	(0.7%)



2. 回答者の主な勤務先

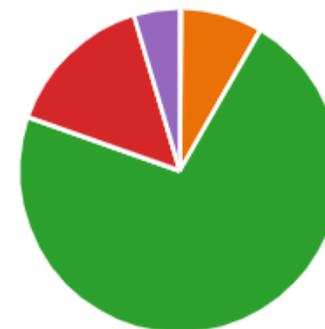
● 大学病院	569	(41.2%)
● 大学病院以外の国公立病院	226	(16.4%)
● 公的病院(日赤・済生会・JCHOなど)	195	(14.1%)
● 民間病院	290	(21%)
● 診療所	70	(5.1%)
● 勤務していない	3	(0.2%)
● その他	28	(2%)



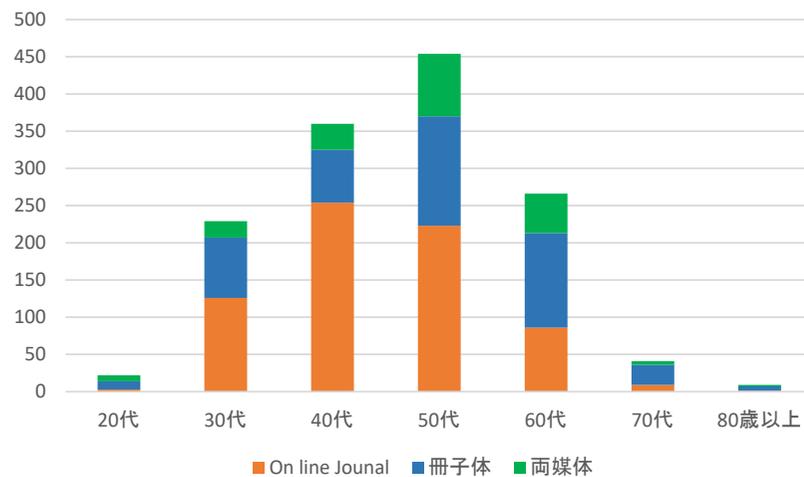
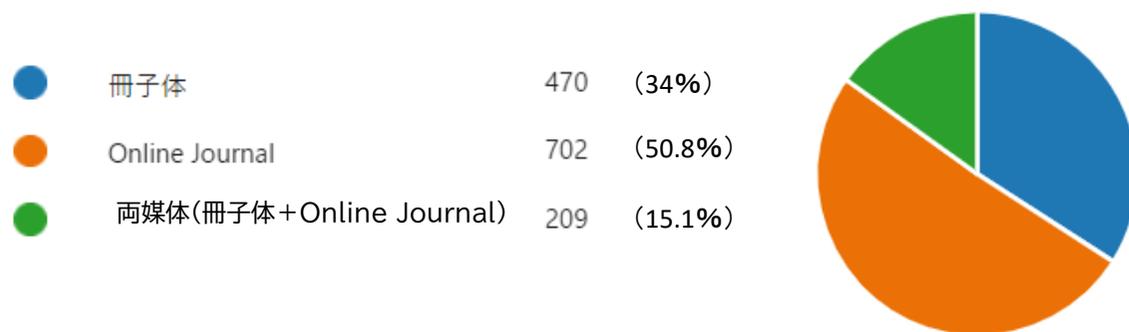
3. 回答者のポジション

(2で大学病院・国公立病院・公的病院（日赤・済生会・JCHOなど）・民間病院を選択された回答者)

● 研修医	2	(0.2%)
● 専攻医	106	(8.2%)
● 研修医・専攻医以外の病院勤務医	935	(72%)
● 病院管理者	195	(15%)
● その他	60	(4.6%)



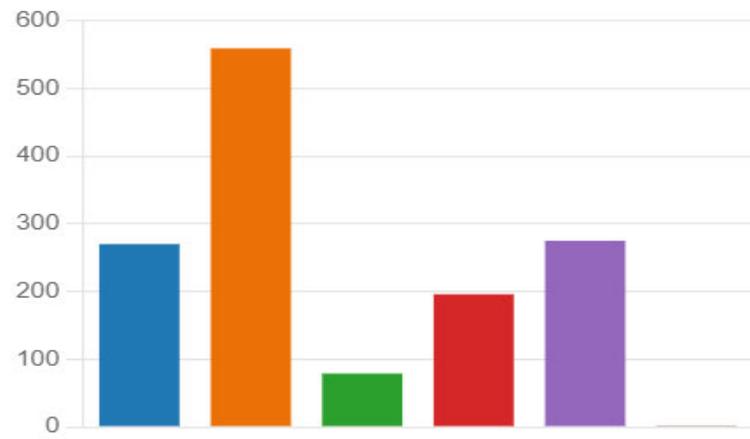
4. 回答者の主な日本外科学会雑誌の閲覧方法



5. 冊子体の日本外科学会雑誌について（どの程度読むか）

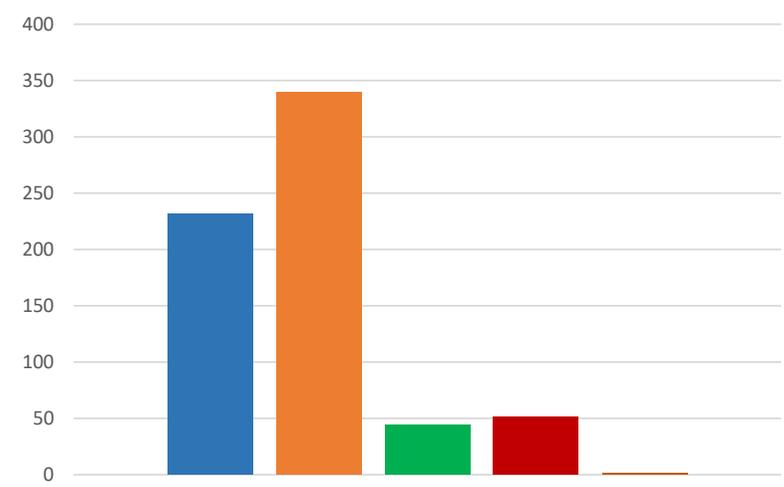
全体

● 雑誌が届いたら一通り目を通す	270	(19.6%)
● 興味のある企画のみ読む	559	(40.5%)
● 保存しておいて必要な時に読む	79	(5.7%)
● ほとんど読まない	196	(14.2%)
● 配本を希望していない	275	(19.9%)
● その他	2	(0.1%)



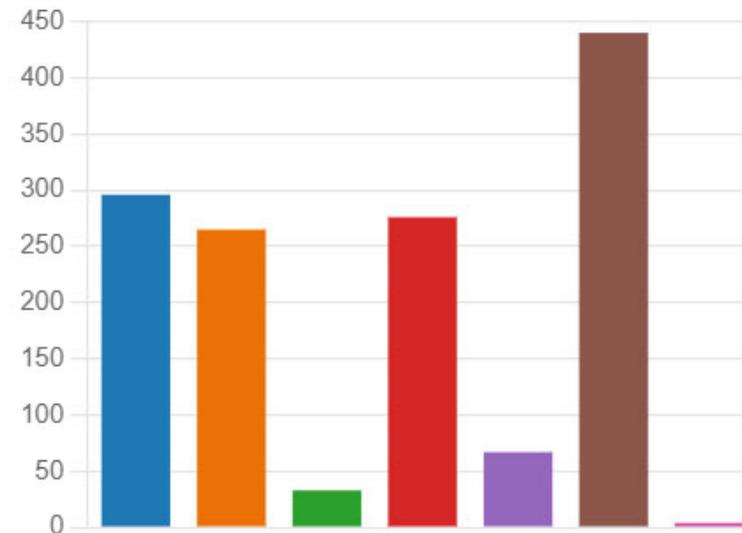
配本希望者

■ 雑誌が届いたら一通り目を通す	232	(34.7%)
■ 興味のある企画のみ読む	340	(50.9%)
■ 保存しておいて必要な時に読む	44	(6.6%)
■ ほとんど読まない	51	(7.6%)
■ その他	1	(0.1%)



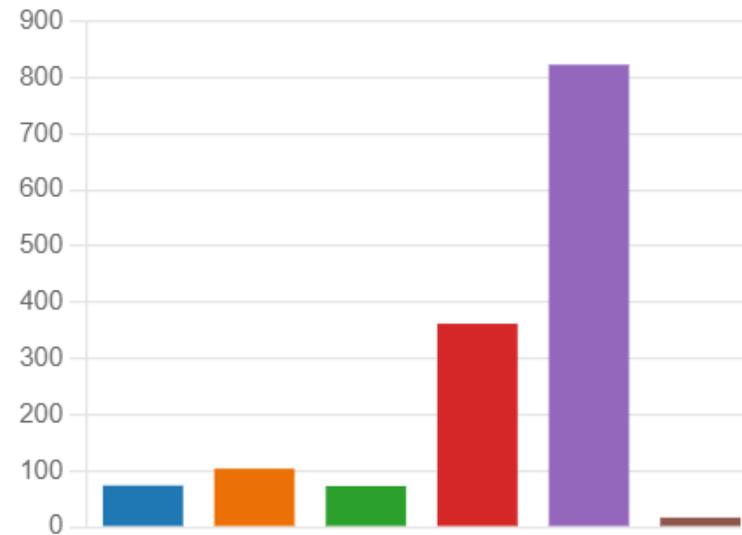
6. 冊子体の日本外科学会雑誌について（送付された雑誌は）

● 全て一定期間保存している	296	(21.4%)
● 興味のある企画のみ保存している	265	(19.2%)
● 医局図書などに寄贈している	33	(2.4%)
● 読んだ後に廃棄している	276	(20%)
● 届いたらすぐ廃棄している	67	(4.9%)
● 配本を希望していない	440	(31.9%)
● その他	4	(0.3%)



7. 冊子体の日本外科学会雑誌について(冊子体に関する要望)

● 文字を大きくしてほしい	74	(5.1%)
● A4サイズにしてほしい	104	(7.2%)
● カラーページを増やしてほしい	73	(5%)
● 冊子体は廃止すべきである	362	(24.9%)
● 特にない	823	(56.6%)
● その他	17	(1.2%)



8. 冊子体の継続について: 冊子体は必要

コメント(要約)

現在の冊子体に十分満足している。

現状を継続。印刷体が読みやすい。

冊子体は継続してもらいたい。

冊子を継続してほしい。

冊子はありがたく読んでいます。コストはかかるかもしれませんが、読むきっかけはやはり実物が届いた時が多いです

デジタル時代にそぐわないと思うが、冊子体の魅力はあります。Online Journalのみとなった場合でも年に2回程度の冊子体発行があってもいいのかなと思います。

知識のリニューアルに活かしたいと思います。紙媒体で続けてもらう方が、気楽に見られるので良いと思いますが、オンラインでの閲覧も便利で、現状が良いように思います。

冊子が来なくなってからほとんどオンラインではほとんどといってよいほど読まなくなりました。できれば冊子のほうが読みます。オンラインではバックライトが気になって、読む気になりません。オンラインで読む場合も印刷して読むようにしています。画面の文章は頭に入りません。

冊子は、後になって検索するのに便利です。ページが切り取りやすいようにミシン目があるとスクラップしやすく便利です。

コロナの中、苦勞されて企画・継続されていて、それを感じながら毎号拝読しています。冊子の良いところは短時間・休憩時間でも見ることができることです。おそらくOJのみの方は、それほど見ていないようです。ぜひ継続していただければありがたい。OJの会員の方のアクセス頻度をデータ出してみると良いと思います。毎月OJを開くかたは年12回開くことにはなりますが、果たして会員の平均はどうでしょうか？

冊子体を受け取らなくなって、雑誌に目を通す機会が減ってしまった。

本が無くなって本棚はスッキリしたが、本の際はパラパラめくりながら読んでいたがonlineになって、それが出来なくなった。配信に目次があればなんとなく読んで興味があれば簡単にアクセスできるようになれば本のパラパラに近くなるのでは。

9. 冊子体の継続について: 冊子体は不要

コメント(要約)

冊子体はもう必要ないのではないかと思います。

紙ベースはほぼ不要ではないでしょうか。

紙媒体は不要。

紙媒体は必要ないと思います。

オンラインジャーナルで満足しています。

オンライン化もやむなし。

Online 閲覧で。

電子ジャーナルのみで結構です。

伝統ある雑誌ですがOnlineでの工夫(短文で短時間でわかりやすくという)へのできるだけ早い移行が早急な対応と思います。

ご時世的に配本は全面廃止でよいと思うのですが、やはりその分目を通す機会は減るので、専門分野等を登録しておき、そこに合致したメールニュースが優先的にくる様になればよりチェックする度合いが増えると思います。

会費の有効利用のために、紙媒体の配布物は今後できるだけ削減していくべきかと思います。雑誌も時代に合った在り方が求められると思います。

ご年配の方には難しいのかもしれませんが、中堅以下は時代の流れからonline journalのみでいいと思います。希望者のみ冊子体でもよいのかもしれませんが。

特にありません。紙媒体だからとところどころ拾い読みしていますが、SDGSな等のことを考えると電子媒体への移行もやむを得ないかと思います。

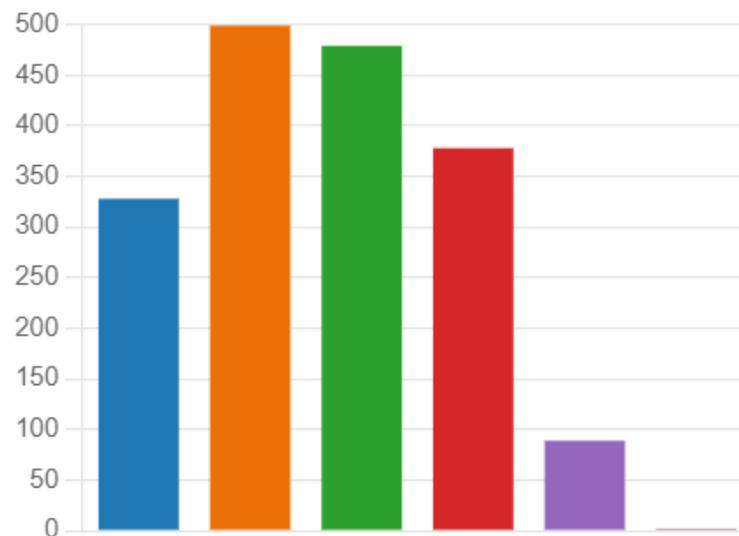
冊子にもお金がかかると思いますので、終了でいいかもしれません。

onlineだけで十分です。発行にかかる費用の分、会費を安くしてください。

心臓外科を専門としているが、外科学会雑誌に触れることはない。雑誌を廃止して、会費を減額してほしい。

10. Online Journalについて（どのような時にアクセスするか）

● 日本外科学会雑誌発刊のメールニュースが届いた時	328	(18.5%)
● 興味のある企画があった時	499	(28.1%)
● 文献検索をする時	479	(27%)
● ほとんどアクセスしない	378	(21.3%)
● アクセス方法を知らない	89	(5%)
● その他	2	(0.1%)



11. Online Journalについて（Online Journalに関する要望）

● ID,パスワード入力を省略してほしい	359	(19.1%)
● 少ないクリック数で本文閲覧できるようにしてほしい	545	(29.1%)
● 検索を容易にしてほしい	467	(24.9%)
● 特にない	489	(26.1%)
● その他	15	(0.8%)

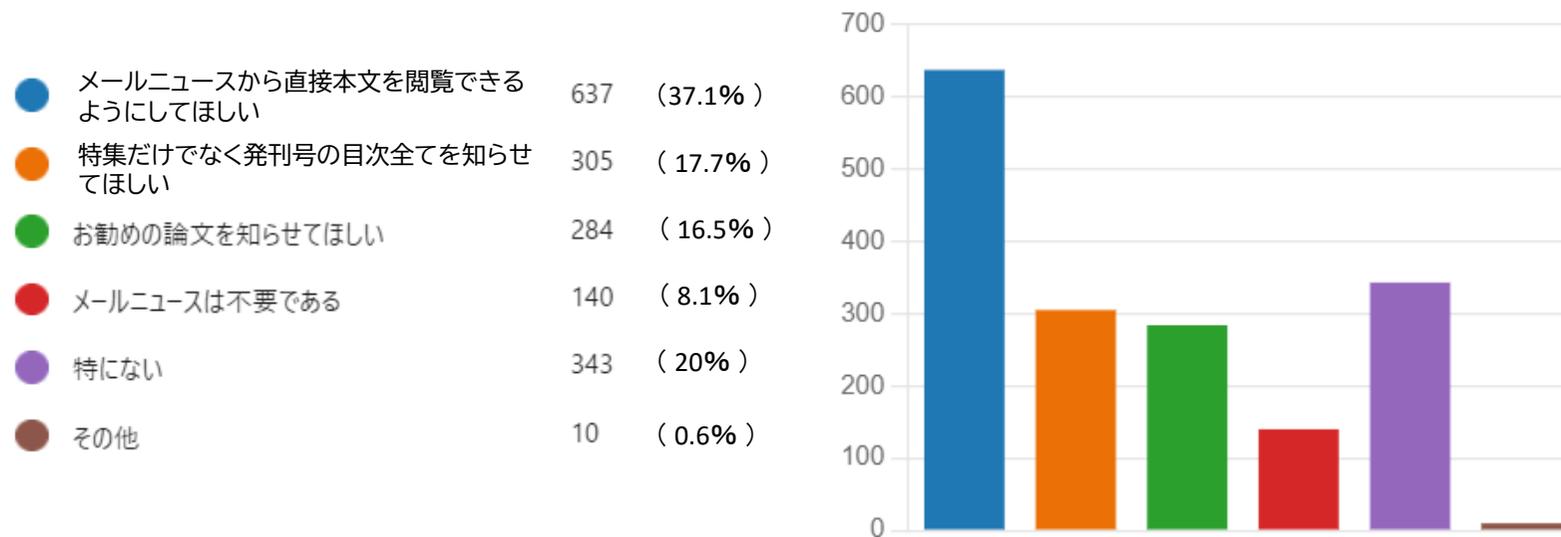


12. Online Journalについて (日本外科学会雑誌発刊のメールニュースは)

● Online Journalに直接アクセスする	235	(17%)
● 特集のテーマのみ確認している	645	(46.7%)
● 届いているが読んでいない	315	(22.8%)
● 届いていない(知らない)	182	(13.2%)
● その他	4	(0.3%)



13. Online Journalについて（メールニュースに関する要望）



コメント(要約)

消化器外科学会のほうが、メールが頻回に届き、目を通す機会が増える。外科学会からのメールは少なく、積極的に情報発信している印象が少ない。米国外科学会ACSのようなBulletinや特集などのPopupのメールが届くと邦文、英文にしても見ようという気になる。今はどちらかという英文メールに目が生きがちなので、日本語と混ぜるようなタイトルにしてはどうか。

メールニュースは会員へ伝えたい文献の内容のサマリーを配信してほしい。雑誌としての目的からあくまでも文献へのアクセスが簡単である事。文献までたどり着くのが煩雑。

配信に目次があればなんとなく読んで興味があれば簡単にアクセスできるようになれば本のパラパラに近くなるのでは。

最近、日本外科学会雑誌発刊のメールニュースが届いていないような気がします。

14. 各企画を読む頻度について：Editorial

● 毎号読む	156	(11.3%)
● 時々読む	688	(49.8%)
● ほとんど読まない	537	(38.9%)



コメントなし

15. 各企画を読む頻度について： **会員へのメッセージ**

● 毎号読む	152	(11%)
● 時々読む	697	(50.5%)
● ほとんど読まない	532	(38.5%)



コメント(要約)

件数

会員へのメッセージはメールで済む。検索する論文以上の内容はないので、必要ない。

1

16. 各企画を読む頻度について：先達に聞く

● 毎号読む	151	(10.9%)
● 時々読む	700	(50.7%)
● ほとんど読まない	530	(38.4%)



コメントなし

17. 各企画を読む頻度について：理想の男女共同参画を目指して

● 毎号読む	91	(6.6%)
● 時々読む	537	(38.9%)
● ほとんど読まない	753	(54.5%)



コメント(要約)	件数
あまり参考にならない。理想ばかり述べて意味がない。	3
毎回はなくてもいい。	1
もっと力を入れてほしい。	1
男女共同参画委員会がなくなってしまったので、「理想の男女共同参画を目指して」も消えるのではと危惧する。	1
ダイバーシティ的な用語に変更希望。	1
ダイバーシティという観点から、性別のみだけでなく個人の持つ背景から色々な働き方をテーマに。	1
討論形式を希望。	1
自発的な意見や希望を発信してほしいので、広く公募してほしい。	1

18. 各企画を読む頻度について：若手外科医の声

● 毎号読む	118	(8.5%)
● 時々読む	670	(48.5%)
● ほとんど読まない	593	(42.9%)



コメント(要約)	件数
あまり参考にならない。	1
毎回楽しみに読んでいる。	1
討論形式を希望。	1
自発的な意見や希望などについて発信してもらいたい場であると思うので、広く公募してほしい。	1
編集部や上司等に変に丁寧な感謝は記さなくて良い。	1

19. 各企画を読む頻度について：特集

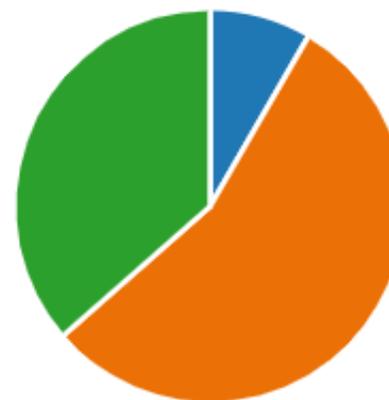
● 毎号読む	167	(12.1%)
● 時々読む	892	(64.6%)
● ほとんど読まない	322	(23.3%)



コメント(要約)	件数
もう少し幅広い(さらに複数の)記事が掲載されると良い。	1
消化器外科以外の科に焦点を当てたものを作って欲しい。	1
各サブスペ領域を掘り下げたものより、医療訴訟対策関連や各種エネルギーデバイスの詳細など領域横断的な内容を中心にしてほしい。	1
大都市に住む人、地方都市に住む人 同じ生存権が保証されているのか？救急車の現着、病着に要する時間、実際の救命率などのデータをもとに検証してほしい。働き方改革云々を一生懸命旗振りしているのは、ある意味滑稽。地方の医療を崩壊させ、地方に住む患者が平等に医療を受ける権利が損なわれる可能性が高いことを認識しているのならば、政策提言のためにデータをまとめるべきではないか？外科学会がやらずに誰がやるんだ、と思います。	1

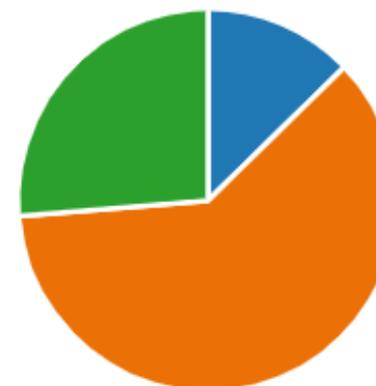
20. 各企画を読む頻度について： **会員のための企画**

● 毎号読む	116	(8.4%)
● 時々読む	762	(55.2%)
● ほとんど読まない	503	(36.4%)



コメント(要約)	件数
医療訴訟事例から学ぶは大変勉強になる。	2
もう少し幅広い記事が掲載されると良い。	1

21. 各企画を読む頻度について：手術のtips and pitfalls



コメント(要約)	件数
企画を増やして欲しい。より充実してほしい。	3
非常に参考になるので継続希望。	2
手書きのイラストがpoorな時が散見される。	2
図、写真を増やして欲しい。	1
カラー写真を希望。	1
もう少し詳しい内容が良い。	1
もう少し幅広い記事が掲載されると良い。	1

22. 各企画の改善点・要望点（その他のご意見）

コメント(要約)	件数
今のままで良い。現在の企画は継続してほしい。	12
ほとんど読まない。必要ない。	2
各科に分けてほしい。	2
わかりやすくしてほしい。	1
内容が多すぎる。	1
広報をわかりやすくしてほしい。	1
つまらない文章は載せてほしくない。	1
論文を短くし、起承転結をはっきりしていただきたい。	1
外科学会で企画する臨床試験などの一覧と連絡先の表示	1
魅力あるタイトルでもページ数が少ないので、内容が薄かったりする。reviewでもいいのでしっかり勉強できる雑誌にして欲しい。	1
外科学会定期学術集会の上級演題をもっとたくさん掲載してほしい。	1
経験を記述するだけでは、正しいことを行っているかどうかは分からない。その手技が正しいことの根拠を記述しなければ、学術論文ではなく、単なる感想録に過ぎない。理論的になぜ、その手技が正しいといえるのか、きちんと記述すべきだ。	1
採択基準が不透明なので質が怪しい。	1
原著論文以外が掲載されている印象なので、読む意欲や寄稿する意欲が落ちる。	1
若手外科医と60歳前後の会員のための雑誌になっている。1995-2003卒業の最も苦労した外科医の声が雑誌に反映されるような内容にしてほしい。	1
心臓外科をしているため、他領域の話題に触れることがないので情報貴重な雑誌であるが、精読する機会は少ない。	1

23. 今後扱ってほしい企画 1.

カテゴリ	コメント(要約)	件数	
一般外科学・外科総論	外科理論、一般外科学の重要性も扱ってほしい。	2	6
	一般的な疾患のスタンダードを扱ってほしい。	1	
	「外科学」という教科書に求められるものについて	1	
	初期研修へのレクチャーの資料になるような外科の基本についての解説	1	
	外来の小外科 新しいテクニックや術後の管理法	1	
歴史	外科学の歴史	3	4
	欧米の「外科教科書」に参照されている、日本発の業績	1	
医療安全	医療事故、医事紛争	3	4
	医療安全関連のトピックス	1	
統計	統計処理の考え方	1	1
トピックス	最新のトピックス	4	7
	各分野のトピックス	2	
	外科学会学術集会のトピックス	1	
海外	海外のトピックス	2	6
	海外の外科事情	2	
	海外外科系学会総会のダイジェスト, 報告.	1	
	ACS Japan chapterとの連携内容	1	
論文の解説・review	海外論文やSurgery Today掲載論文の紹介・解説	3	4
	日本語でreview論文を掲載する雑誌は意外と少ない。高品質のreviewを掲載してはどうか。	1	
ガイドライン	ガイドラインupdate	2	2

24. 今後扱ってほしい企画 2.

カテゴリ	コメント(要約)	件数	
手術	手術のコツ、上達方法	3	16
	開腹手術の利点 次世代の開腹手術について 緊急開腹手術ができる次世代の外科医の育成は必要か？	3	
	ロボット手術の現状	3	
	高齢者の手術適応、術式選択、認知症患者への治療方針など	2	
	標準術式、術前術後管理などの基本的な内容	1	
	拡大手術	1	
	器械・器具やエネルギーデバイスなどの特集 基本的なものとは各外科で現在主流のもの	1	
	AIの活用によって、手術はどう変わるか。	1	
	各分野における外科医と内科医によるHybrid手術	1	
困難症例	困難症例の提示、悩んだ症例の相談等	2	2
基礎研究	基礎的研究の内容も増やしてほしい	1	1

25. 今後扱ってほしい企画 3.

カテゴリ	コメント(要約)	件数	
外科医の環境	外科を取り巻く危機的環境に対する啓発、政策提言に結び付く特集 医療界における外科医の客観的な立場、地位保全 将来展望	6	12
	外科専門医を持ちながら違う診療科に従事している外科医の特集。 外科医の展望性の広さをアピールしたほうがよい。	1	
	世界情勢、世界の外科との比較、日本の外科学の現状と他科との協力体制、目指すべきところへの 議論など。	1	
	開業医と勤務医との収入格差や目指すべき医療構築とその啓蒙・政治への働きかけ。	1	
	災害時の外科医の貢献実績	1	
	学会の在り方	1	
	生涯教育に関する特集	1	
働き方改革	外科医の働きかた、若手医師育成の問題等を含めた労働環境について	6	14
	外科医の適正配置、施設集約化、待遇改善(全診療科同一体系の見直し、名ばかり管理職の時間 外未払いなど)、診療看護師、外科志望者のための初期研修など	2	
	外科医の収入(勤務形態、病院規模、地域別、年齢別の比較)	1	
	全国の外科医全てに対して、緊急手術時は手当が出るクラウドファンディングの開始 など	1	
	各外科の立ち位置と、特に地方での外科医療が成立するのかどうか	1	
	具体的実践方法、グループ診療に有用なツールの紹介	1	
	外科医の育休取得に向けた方策	1	
	様々な外科医のライフスタイル、ワークスタイルなど	1	

26. 今後扱ってほしい企画 4.

カテゴリ	コメント(要約)	件数	
若手外科医	外科医を増やすための方策	4	9
	外科を目指す人へのメッセージ	1	
	若手外科医の外科入局の決め手となった理由を知りたい。 外科医リクルートに成功している施設からの投稿(ノウハウ、コツを知りたい)。	1	
	若い医師が外科医になりたくなる企画・宣伝	1	
	U40の活動について	1	
	若手外科医の特集もよいが、1995-2003年卒の会員の特集も組んでほしい。	1	
セカンドキャリア	外科医のセカンドキャリア 人生100年時代に向けて、60才以降(定年後)の外科医の仕事の仕方について	6	6
専門医制度・教育	外科専門研修プログラムについて	3	4
	各国の外科医の育成方法	1	
ダイバーシティ・その他	ダイバーシティと外科の発展について	2	5
	リーダーシップ	1	
	社会的問題	1	
	どうしたら、教授のパワハラが無くなるのか	1	

27. 今後扱ってほしい企画 5.

カテゴリ	コメント(要約)	件数	
地域医療	「地方外科診療の問題や地域格差の解消」についての企画	2	4
	各地域(都道府県、地域、市町村など)の外科体制や特徴、良い点、問題点などをその地域の方に書いて頂く。	1	
	最先端医療>地方(へき地)診療となっている印象あり。地方(へき地)診療の実情についても特集してほしい	1	
保険診療・診療報酬	診療報酬の仕組み、査定の現状など保険診療に関連した企画	3	4
	保険点数(海外との比較含めて)に対する議論。	1	
コロナ関連	コロナなどと外科の関り コロナ患者と手術に関して、準備や術中管理・術後管理など	2	3
	コロナワクチン注射の有無からみた免疫関連疾患や癌などの発生の解析	1	

28. 今後扱ってほしい企画 6.

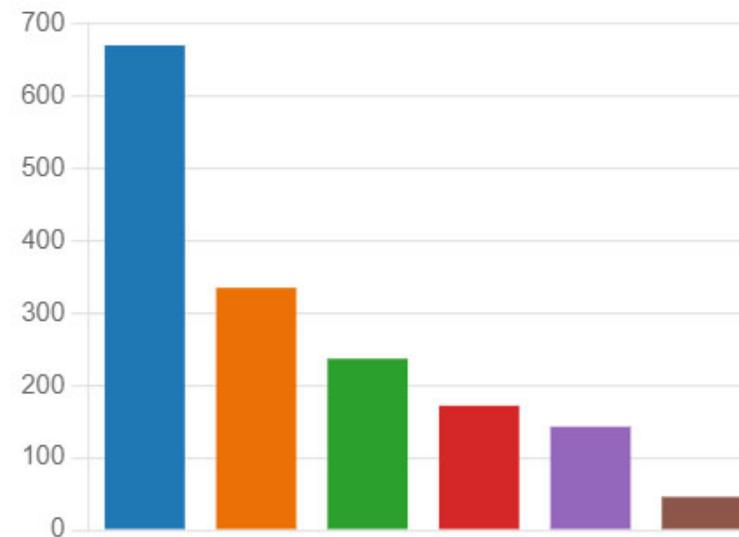
カテゴリ	コメント(要約)	件数	
領域別	肺癌、呼吸器外科領域	2	7
	外傷外科、救急外科、創傷管理、外科感染制御、血管内治療	2	
	腹部救急、ACSに関すること	1	
	甲状腺がん、遺伝子パネル	1	
	IBD	1	
具体案	消化器がんの予後は改善したのか・・・10年前との比較、20年前との比較	1	7
	分子生物学は外科学を変えたか:「これまで」と「これから」	1	
	過去20年の病理学が変えた外科学について	1	
	過去20年の麻酔学が変えた外科学について	1	
	がん診療とQALY	1	
	旅行(留学)体験記	1	
	50歳で外科医を引退して、政界に進出したり、会社役員となるなど、元外科医を誇りに生きるという企画はどこにも見たことがない。また、全国に82医学部があるのだから、すべての教授が医局員の力を借りてでも、日本外科学会誌に連載コラムを持ってもらいたい。連載コラムは人気投票を実施し、人気が高い上位5つのコラムは、見開きで継続、それ以外は1頁ずつで継続してほしい。出身医局のコラムは必ず読むだろうし、関連病院も必死に読むだろう。次の定期学術集会の観光案内や求人広告があってもよいだろう。	1	

29. 今後扱ってほしい企画 7.

カテゴリ	コメント(要約)	件数
その他	なかなか英文論文にはなりにくい、本邦ならではの各領域の日常診療+将来展望についての総説は日本外科学会雑誌(和文誌)ならではの情報発信なので、より一層充実させてほしい。	1
	大先輩方の経験、視点から現在の診療に関する意見を伺いたいです	1
	外科学会で企画する、臨床試験などの一覧と連絡先の表示	1
	各臓器のPractice changeとなるようなデータが出た場合に、その解説と日本での運用に対する課題等を取り扱ってほしい。	1
	日本外科学会として各専門領域の論文の評価や推奨などするのはいかがでしょうか。	1
	外科学会総会で、全学会員に紹介したい素晴らしい演題発表をピックアップして、論文紹介としてはいかがでしょうか。	1
	症例検討	1
	公募のものを載せてほしい	1
	がんばっている本格的な外科にスポットを当ててほしい。政治からみの著者だけでは、若手は読みません。	1
これまでの方針でとくに悪くない気がします。	1	

30. 日本外科学会雑誌の今後について

● 現在の企画を継続	670	(41.8%)
● 企画内容をリニューアルして継続	335	(20.9%)
● 原著論文を掲載してほしい	237	(14.8%)
● 会員からの一般投稿を増やしてほしい	172	(10.7%)
● 日本外科学会雑誌は必要ない	143	(8.9%)
● その他	46	(2.9%)



31.日本外科学会雑誌に関するご意見 1.

カテゴリ	コメント(要約)
継続してほしい	<p>現在の外科医療の立ち位置を把握する上で必要と感じています。自らの検索だけでは気が付かない事柄を雑誌の閲覧で見ることができると思います。効率的ではないですがだからこそ重要だと思えます。継続して頂ければ幸いです。</p> <p>大学を離れた外科医にとって、この雑誌のもつ雰囲気は貴重である。日本の外科はこんなことがやりたいんであろうな、と感じられる数少ないメディアである。頑張っていたきたいと思えます。</p> <p>いつも楽しみに拝読しています。</p> <p>今後も、役立つ特集を宜しく願います。</p> <p>雑誌は個人的には継続してほしい</p> <p>専門以外の項目に対し目を通すべきで、この観点からは外科学会誌の存在は大きい。</p> <p>大変勉強になっています。雑誌は本当に読みやすいです。是非続けてください。</p> <p>日常診療の励みになっています。ありがとうございます</p> <p>オンラインだとメールが来てもつい後回しにしてしまう。ぜひ、紙媒体で発行を続けていただいで、パラパラとでも毎回見る習慣を続けさせてもらいたいです</p> <p>ぜひ継続していただきたいです</p> <p>いつも編集ありがとうございます。</p> <p>いつもありがとうございます。</p> <p>日本の外科医療の中核としてご尽力いただきいつもありがとうございます。</p> <p>毎号楽しみに読ませていただいでいます。</p> <p>続けて下さい。</p>

32.日本外科学会雑誌に関するご意見 2.

カテゴリ	コメント(要約)
継続してほしい	<p>頑張ってください。 他の雑誌と違うことが企画されており良いと思う。 たいへん楽しんで拝読し、勉強になっていますのでどうぞ事業を継続してください。 多くの学会誌が英文誌になりつつある中ほっこりと読ませていただいております。 邦文編集委員を以前やっていたため、たいへん興味深いです。 やめないで欲しい。 和文誌の発刊継続を希望します。 今後も、勉強になる特集を宜しく願いたいします。 いつもお世話になっています。ご苦労様です。今後ともよろしく願いたします。 楽しみにしています。 これからもよろしく願いたします。</p> <p>投稿の場があるのは良いと思うので継続していただきたいです。 専門分野の関連学会の冊子で送られる学会誌も、年1-2回、選別して残すものを決めるために目を通すような状況となっています。 学会でも抄録集など一覧で見て、興味のあるものをチェックすることはあるので、紙ベースのものがあるのは良いと思います。 冊子にしてもonlineにしても1つのテーマを外科学会雑誌の中だけで検索することは通常ないのが現状です。 外科学会からのメールニュースは都度チェックしているわけではないので、雑誌に関しては年1程度でタイトルのまとめがあると、他の施設・先生の投稿内容の流れを知ることができ、活用しやすいかと思います。 雑誌には期待しています。</p>

33.日本外科学会雑誌に関するご意見 3.

カテゴリ	コメント(要約)
継続してほしい	<p>毎号お届けくださって、感謝しています。 出来る限り目を通すようにしています。</p> <p>いつもありがとうございます。 これからもよろしく願いいたします。</p> <p>現在の内容で良いと思います。毎号、読んでいます。 毎回、楽しみにしています。</p> <p>原著論文などの学術雑誌ではなく、現状の形態でよいと思います。 結構ためになる企画が多いので、ぜひこのまま継続していただきたいです。 大きさや厚さが適切なサイズで、移動中も読みやすい。</p> <p>中々目を通す時間がないので恐縮ですが、歴史ある雑誌なので、継続していくことを願っております。</p> <p>現行で可。特集は特にためになる。 現行のままが良いと存じます。 現在の方針でよいと思う</p>
邦文誌不要	<p>必要ないと思います。Surgery Todayの内容を毎月紹介していただいたほうがありがたいです。 必要無い。</p> <p>日常の過剰業務に加えてまで読むべき理由・必要性を感じていないため、メールニュースを含めて読んでいない。外科学会の活動については知らずにスルーしていることがほとんどなので、日常の業務に加えてまで知りたくならないような内容や広報活動の工夫が必要だと思えます。</p>

34.日本外科学会雑誌に関するご意見 4.

カテゴリ	コメント(要約)
問題点	<p>雑誌を売る、雑誌を読んでもらう、という発想がどのくらいあるのだろうか。 立ち位置、存在価値が難しくなっていると思います。 扱う疾患が多く、雑多な印象があります 本学会雑誌の投稿内容を見ていて目指す方向性がよくわからない。 「メールニュース」で発刊のお知らせをいただいておりますが、メールタイトルが他の連絡内容とすべて同じですので、雑誌の発行に気が付きにくい面があります。 毎号の企画には工夫とご苦労の跡が見られます。情報量が多くなり、内容も盛り沢山で活字が小さいので、年寄りの目には少々負担を感じます。 紙面の制限があるためか、外科全般の最大公約数を狙っている為か、特集などの内容がやや浅い印象があります。 以前はOnline Journalを出版後1年？は会員以外読めなかった。そんな小さい心では外科学は衰退すると思う。</p>
要望	<p>発行回数を減らしてはどうでしょう。 内容の充実 まずは雑誌の使命を明らかにしてください。 ぜひ、一般投稿、総会で好評だった演題の投稿などを増やしてほしい。 本邦最高峰の公募雑誌としてほしい 全ての外科領域についていけないほど、世の中の進歩のスピード、データが出てくる頻度が多くなっている。 Key paperについて、日本語で簡単に理解できるような特集があると会員の理解が深まると思われる。 サイエンスとは何か、をもっと明確に出すべき。 若手外科医に役立つような内容、外科全般に役立つ内容を取り扱って欲しい 内科学会雑誌は毎号特集が組まれ、最後に確認テストもあるため、その分野がupdateされる。外科も同様な感じにすると、もっと読まれるのではないか。</p>

35.日本外科学会雑誌に関するご意見 5.

カテゴリ	コメント(要約)
要望	外科医師全般の要望をまとめることができる最大の組織として、さまざまな課題もらえることを期待します。
	m3のようにある程度意見が出せると皆読むと思う
	昔の外科学会雑誌のように、各疾患、術式別の重要なテーマを総説にしてみっと詳しく載せてほしい。当時は、日本語で日本や世界の最新の情報を詳しく学ぶことができ、大変勉強になりました。若手、指導医ともに役立つ企画をあげてほしい。
	ID, パスワードを無くしてメールからURLで直接読めるようにしてほしい。勝手に雑誌が希望者以外送られなくなってから読まなくなった。
	サブスぺで扱わない内容の継続的、広範囲的投稿からなる内容
	外科学会にしかできないものにして欲しい。各領域の内容は各領域の雑誌に任せるべき。
	内容が消化器外科分野の領域が多い為、心臓血管外科の領域の内容を増やして欲しいです。
	学術雑誌と専門医等認可団体を分けるべきである。
	今の企画ものの継続も要望するが、日本の外科の基幹学会でもあり、一般会員が学術論文を投稿する場としても拡充してほしい。今の時代、冊子体を一律に印刷し、送付するのもコスト的にも大変かと思うのでon line主体でもいいかと思う。
	海外の外科医の仕事内容や私生活とのバランスなど国別に少し具体的に知りたいです

冊子体が来ないようにしてから、外科学会雑誌の存在自体が完全に意識外でした。surgery today、surgical case reportsだけではないのですね。メールからのアクセスを良くしていただくことで、もう少し目に留まるようになるかと思いますが。

学会や資格に関する情報を、もっと見やすくアクセスしやすくしてほしいです。

細分化されている分野のため専門領域の掲載はあまり意味がないと思います。各分野のガイドラインの概要や、このように変わっているなど、医師会雑誌のようなゼネラリストのための規格に特化すべきだと思います。

36.日本外科学会雑誌に関するご意見 6.

カテゴリ	コメント(要約)
要望	<p>オンライン閲覧時に、分野別に検索、しぼりこみができる機能が欲しい 冊子体を減らしてカラー写真掲載の原稿料引き下げなどできないでしょうか 原著論文を取り扱って欲しいと思います。</p> <p>大学の偉い方、一般病院の高名な先生、以外の先生方も紹介できるような企画が欲しいです。 外科学会会員ログインから直接雑誌に入れるようにしてほしい カラーページを増やしてほしい。 A4サイズにしてほしい。 字をやや大きくしてほしい。</p> <p>邦文誌の立ち位置は難しいですが、会員の相互連絡や学術集会の情報など、non-academicな部分で必要と思います。 大学の偉い方、一般病院の高名な先生、以外の先生方も紹介できるような企画が欲しいです。 外科学会会員ログインから直接雑誌に入れるようにしてほしい。</p>
その他	<p>学会情報は、ホームページに掲載すれば事足ります。学術に関しても、和文では論文としての価値がありません。学術情報のまとめを各エキスパート(一般会員からの公募もよいですが、応募する方はいないかもしれません)に依頼し、それをホームページに掲載で十分と考えます。そうすることで、外科学に関するその時代時代の有用な情報が蓄積され、意義のあるホームページが自然と出来上がります。またこれらの英文も掲載する(Google翻訳を学会の英文校正者が修正すれば筆者に負担をかけません)ことで、世界からアクセスされます。</p> <p>現在外科からは離れているので、調べ物以外では検索することがありません。今後は勉強の機会を増やしたいと思います。 心臓外科医でほとんど読みません。参考にならずすみません。</p>

37.日本外科学会雑誌に関するご意見 7.

カテゴリ	コメント(要約)
外科学会に対する要望	会員を増やす
	会員を増やす方策を考える
	外科医を増やす努力をしてほしい
	認定外科医の資格をさらに負担なくして欲しい。
	日外誌への特段の意見はないが、指導医選定料は、内科系の日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会に倣って、無料にしていきたい。他のすべての学会で専門医認定料の請求がなされていてこれは納得できるが、指導医選定料の徴収は納得しがたい。日本消化器外科学会では、名誉指導医資格を創設し、有効期限を永久にしており、これも参考にしていきたい。

まとめ：閲覧方法

- 「Online Journalのみ」と「冊子体＋両媒体」はほぼ半々。
- 40代までは「Online Journal」が多く、50代でほぼ均衡、60代以降は「冊子体＋両媒体」が増加し約70%が冊子体を利用している。
- 冊子体の雑誌は、配本希望者の92.2%が何らかの形で読んでいる。
- 「冊子体は廃止すべき」とする意見は約25%
 - ・ その分会費の減額を望む声も…
- Online Journalに「ほとんどアクセスしない」、「アクセス方法を知らない」は26.3%
 - ・ 逆にアクセスしているのは約3/4…冊子体より低い
- アクセスや検索の簡便性を求める声が多い。

まとめ：メールニュース

- メールニュースを「読んでいない」、「届いていない」は36%
- メールニュースにより半数近くは特集テーマを確認しているが、直接Online Journal閲覧につながるのは17%
- 本文への直接リンクや、目次やサマリーの記載などメールニュースの内容充実を求める声が多い。

まとめ：各企画について

- 「特集」、「手術のtips and pitfalls」は約75%に読まれている。
 - 「特集」では総論や領域横断的なテーマを望む声も。
 - 「手術のtips and pitfalls」は図や写真の充実も求める声が多い。
- 「Editorial」、「会員へのメッセージ」、「先達に聞く」、「会員のための企画」は60%程度が読んでいる。
- 「理想の男女共同参画を目指して」は45.5%、「若手外科医の声」は57%と低い。
 - ダイバーシティの視点から、性別のみでなく若手やセカンドキャリアなど、様々なテーマを
 - 公募や討論形式をの望む声も。
 - * 執筆者の選定方法も再検討？

まとめ：今後扱ってほしい企画

- 総論、領域横断的な内容に関する要望が多い。
- 社会問題：外科医の環境、働き方改革、若手医師のリクルート、地域医療の問題点など。
- 診療報酬に関するもの。
- 手術のコツ、開腹手術、ロボット手術、その他手術関連。
- 英文誌やSurgery Todayのreview、学術集会の優秀演題の紹介。

まとめ：日本外科学会雑誌の今後

- 邦文誌の継続を望む声は多い。
 - ・「必要ない」は8.9%
- 各領域の内容はサブスペ学会の雑誌に任せ、日本外科学会雑誌には領域横断的なものが求められている。
- 一方で、原著論文や一般投稿の増加を望む声もある。